

2023 政策研究大学院大学
公共政策プログラム

地域政策コース



政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES

ごあいさつ

政策研究大学院大学(GRIPS)は、政策及び政策の革新に関わる研究と教育を通して、我が国及び世界の民主的統治の発展と高度化に貢献することを目的として、その前身である埼玉大学大学院政策科学研究科における20年の経験を踏まえ、1997年に設立された大学院大学です。

設立以来一貫して、日本と世界の現実に即応した政策研究を促進するとともに、国内外の政府部門で働くミッドキャリアの行政官等を主な対象にして、高度な政策研究に関する大学院教育を行ってきました。

キャンパスは東京都心・六本木に位置し、世界の60近い国と地域から学生が集まっており、日本人学生にとっては、将来の世界各国の指導者となり得る留学生との絆を深めることができる極めて国際的な環境にあります。

地域政策コースは、そのような環境の中で、グローバルな視点も兼ね備えた、将来の自治体の中枢を担うに足る中核的人材の養成を目的としています。

その前身であり、本学の開学当初から設置された地域政策プログラムの時代から通算すると、これまで470人を超える修了生を輩出してきました。多くの修了生が自治体の中枢部門で活躍し、また日本全国をつなぐネットワークを形成しています。

我が国は、総人口が2008年をピークに減少局面に入っており、2020年の国勢調査の結果によると39の道府県、8割を超える市町村で5年前に比べて人口が減少しています。一方で2040年頃には高齢者人口がピークを迎え、歴史上経験したことのない事態に直面することが見込まれています。また、大規模・複雑化する災害の多発や新型コロナウイルス感染症の拡大等により、社会構造の大きな変革も予想されます。

こうした変化の中で、自治体の経営や行政サービスの提供をどのように持続可能なものとしていくか。地域の活力をいかに維持していくか。それぞれの地域ごとに将来の変化を見通して、顕在化する諸課題への対応を真剣に考えていく必要があります。

このような時代にあって、地域政策コースでは、将来の自治体幹部として、国内外にわたる幅広い視野と知識を持ち、的確な分析、総合的な判断、効果的な実践を通じてこれらの諸課題に対処できる政策構想力と行政経営能力を有する人材を養成するため、その教育をさらに充実・発展させていきたいと考えています。

地域政策コースの概要

目指す人材像

- 地方分権や地方創生が進展する中で、高度のジェネラリストとして将来の自治体幹部となり得る人材
- 豊かな政策構想力と優れた行政運営能力を備え、中央省庁の行政官をも凌駕する人材

コースの特徴

● 1年間の修士課程コース

通常2年間の修士課程教育を1年間でを行います。
授業科目による必要単位の取得に加え、修士論文(ポリシー・ペーパー)の審査に合格することが修了要件です。
修了者には、修士(政策研究)の学位とともに、コース修了証が授与されます。

● 自治体の中枢を担う中核的人材を養成

総務企画部門を中心として、幅広い分野で活躍することができる高度のジェネラリストを養成します。
専門的な知識、総合的な判断力、高度な実践力など、政策プロフェッショナルとして必要な能力の修得を目指します。

● 政策のキーパーソンによる最新の知見の提供

コース指定科目において、総務省の行政官や自治体の幹部職員等から、最新の政策動向や事例を学ぶことができます。

● 自治体間の政策ネットワークの形成

全国の自治体から集う学生同士のネットワークは、修了後においても政策情報の交換などを可能にする貴重な財産となります。

● 国際的な環境と視野の中での教育

外国人留学生在が学生の約3分の2を占めるという、世界的に見ても国際色豊かな教育環境で学びます。
アジア諸国等の地方行政のリーダーを養成するヤング・リーダーズ・プログラム(地方行政)の学生をはじめとする留学生との交流を通じて、国際的視野とネットワークを広げます。
英語科目を履修することにより、Global Studiesコースを修了することができます。

カリキュラム

■ 必修科目(4単位)

- 政策論文演習 …………… 自ら関心のある課題に関してポリシー・ペーパーを作成する

■ コース指定科目(5科目、10単位)

- 地方行政論 …………… 地方自治法を中心にわが国の地方自治を総括的に学ぶ
- 地方財政論 …………… 地方財政制度及び自治体の財政運営について学ぶ
- 地方行政特論 …………… 総務省の行政官等から最新の制度改革や施策動向について学ぶ
- 地方財政特論 …………… 人口減少等社会構造変革下の地方財政運営の在り方について学ぶ
- 自治体改革論 …………… 自治体の組織や運営の見直し等を最新の事例に基づいて学ぶ

■ コース修了要件

必修科目、選択必修科目(8単位以上)、コース指定科目を含む合計30単位以上を取得し、地域政策に係るポリシー・ペーパーを作成すること

※カリキュラムは変更される場合があります。

※「地方財政特論」は、地方公共団体金融機構との連携により実施するものです。

修了生の声

伊地知 英弘（第1期生） 横浜市副市長

論文テーマ 横浜市の予算編成過程に関する研究

私がGRIPSに在籍したのは、市役所に入って12年目（係長5年目）という時期でした。そのような時期にGRIPSで1年間、地域政策、政策立案や分析手法等を体系的に学ぶ機会を得られたこと、そして、第一線で活躍される先生方や全国の自治体の仲間と知り合う機会が得られたことは、その後の公務員生活にとってかけがえのない、大きな財産になったと思っています。長い公務員生活の中で、一度業務から離れ、体系的に知識を吸収し直す機会となるGRIPSでの学生生活は、とても貴重だと思いますので、この機会を有効に活用してほしいと思います。



澤田 博睦（第1期生） 高知県人事委員会 事務局長

論文テーマ 地方議員の政策形成

私がGRIPSで学んだのは、30代も後半になってからでした。徐々に学生気分を味わえる喜びにウキウキした前半、なかなか進まないポリシープロポーザル（ペーパー）にオロオロした後半。空き時間には談論風発。真剣に議論し合った仲間との交流はその後も続き、公務員人生の宝となっています。

当時、指導教官から口酸っぱく言われたことは、「諸課題やその背景を構造的に捉えること」。これまで携わった産業振興計画や地方創生の取り組みを進める上でも、課題に正面から向き合い、構造を明らかにして解決の仕組みをつくることが求められました。GRIPSでの学びは、常に私のバックボーンとなって支えてくれています。



巻嶋 國雄（第6期生） 東京都デジタルサービス局デジタル改革担当部長

論文テーマ 市場化テストによる地方自治体の行政改革に関する研究 ～都営バス事業への市場化テストの導入～

30代前半、中堅に差し掛かる頃に過ごしたGRIPSでの1年間は、行政の現場で培った経験に、知識の後ろ盾を与え、視野を広げ、自らの思索を深める貴重な時間となりました。論文の執筆を通じて鍛えられた論理的思考力は、困難な課題を解決に導く力を育ててくれたと思います。全国の自治体に多くの仲間ができたことも大きな財産です。

学生の7割を占める留学生とは、研究室が一緒に机も隣り合い、自然と話も弾みました。英語プログラムの授業も受講。院生会の仲間と交流パーティや文化祭を開催し、ニュースレターを発刊するなど、留学生との交流を深めました。当時の友人たちとは今もSNSで繋がっています。GRIPSでの学びや経験は、自分を大きく成長させてくれました。私の職業人生を支える柱です。



松永 晴子（第8期生） 愛知県政策企画局企画調整部企画課課長補佐

論文テーマ 地域交通の費用便益分析

GRIPSでは、行政運営やプロジェクトマネジメントなどに関する最先端の講義を、他の自治体職員だけでなく、民間企業の方や国家公務員など様々なバックグラウンドの方々とともに受講することができ、視野を広げることができました。また、自分の関心に沿って研究できる環境が整えられており、業務から離れ理論的に課題を追求することができ、新たな視座を得ることができました。

そして、半年遅れで入学した留学生の歓迎茶会を地域政策プログラムの仲間と開催したほか、机を並べた留学生とともに活動した院生会などを通じ、国内外にネットワークを築けたことは、何よりもかけがえのない財産となっています。



藤倉 健生 (第11期生) 香川県健康福祉部健康福祉総務課長

論文テーマ 三位一体改革後の行財政改革の考察
～府県における定員管理適正化施策の比較を中心に～

社会人なら誰しも、自らが歩んできた道のりを振り返る時があると思います。私がGRIPSに派遣されたのも、まさにそのような時でした。これまでの環境から飛び出すことで初めて気づくことも多く、地方公務員としてのキャリアの原点を見つめ直し、改めて自分の可能性を広げることを意識するようになりました。また、専門的知識の習得や研究課題への取組みに対しても、きめ細かなサポートをいただき、1年間の経験と研究を共にした仲間は、貴重な財産となっています。現在は健康福祉行政を担っており、特に、新型コロナウイルス感染症対策は予断を許さない厳しい状況にありますが、GRIPSでの学びや出会いを糧とし、地域に貢献できるよう日々精進していきたいと思っています。



胡麻 友実 (第16期生) 和歌山県企画部企画政策局文化学術課主査

論文テーマ 事業改廃に着目した、地方自治体における評価制度に関する考察

GRIPSでの経験により、社会に存在する問題の本質を見極め、多様な知識と幅広い観点から解決策を考え、政策として実行する力を身に付けることができた、と感じています。第一線でご活躍の先生方のご指導のもと、地方自治体について、自治体職員として求めている理論と実務の双方に根差す生きた学問を学ぶことができました。

また、同じ学生として、全国の自治体職員の仲間と互いの長所を活かし支え合う強い絆を結べたこと、各国の留学生達と互いの国の文化を紹介し友情を育めたことは、何よりも貴重な財産です。GRIPSで得られた知見と出会えた皆様には、今も日々支えられており、自分の世界を広げてくれるかけがえのない存在に、心から感謝する毎日です。



地域政策プログラム・地域政策コース修了生・在籍生の派遣元 (2000年度～2021年度実績)

■ 地域政策プログラム・地域政策コース学生派遣元別修了者数(合計人数471名)

北海道・東北	67名	北海道	18	青森県	5	岩手県	13	宮城県	5
		秋田県	6	山形県	1	福島県	15	札幌市	4
関東	139名	茨城県	15	栃木県	8	群馬県	5	埼玉県	21
		千葉県	1	東京都	10	東京消防庁	26	神奈川県	7
		宇都宮市	1	さいたま市	10	川口市	2	千葉市	8
		市川市	1	横浜市	17	川崎市	7		
中部	101名	新潟県	10	石川県	1	福井県	2	山梨県	8
		長野県	2	岐阜県	12	静岡県	12	愛知県	19
		三重県	5	新潟市	5	射水市	3	金沢市	1
		浜松市	2	豊田市	18	いなべ市	1		
関西	47名	滋賀県	8	京都府	3	兵庫県	13	奈良県	12
		和歌山県	11						
中国・四国	68名	鳥取県	7	島根県	3	岡山県	3	広島県	5
		山口県	15	徳島県	3	香川県	21	愛媛県	5
		高知県	6						
九州・沖縄	40名	福岡県	11	長崎県	6	熊本県	6	大分県	2
		宮崎県	4	鹿児島県	2	沖縄県	2	北九州市	7
その他	9名	衆議院事務局	1	参議院事務局	1	財務省	2	環境省	1
		会計検査院	1	日本看護協会	1	日本海総合病院	1	その他	1

入試情報

- 出願するための資格 …… 学士の学位を有するか、2023年3月末までに取得見込みの者等
- 選抜の方法 …… 第1次審査は書類選考、第2次審査は面接
- 入学者選抜の方法 …… 2023年度の入学生のための試験日程は、次のとおりです。

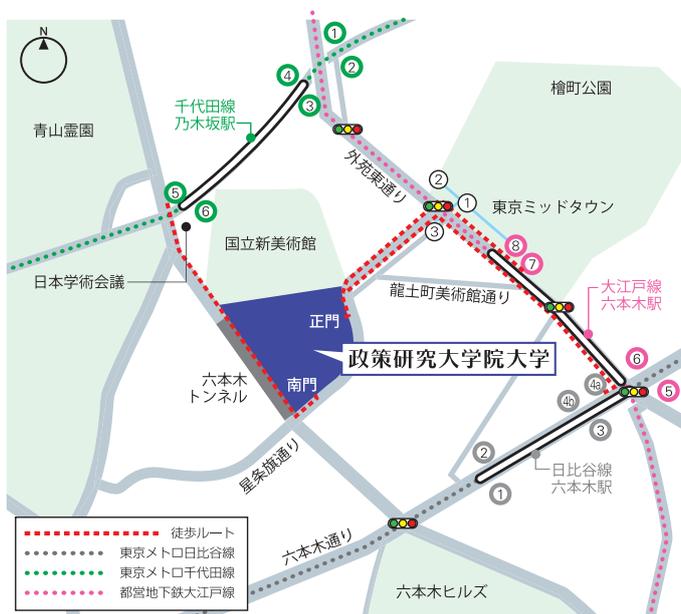
	第1回	第2回
出願受付期限	2022年10月14日(金) 17時	2023年1月6日(金) 17時
第1次審査結果発表	2022年11月4日(金)	2023年2月2日(木)
第2次審査(面接)	2022年11月10日(木)または11日(金)	2023年2月8日(水)または9日(木)
第2次審査結果発表	2022年11月24日(木)	2023年2月24日(金)

学費(予定)

検定料	30,000円	入学料	282,000円	授業料 (年額)	642,960円
-----	---------	-----	----------	-------------	----------

※詳細については「修士課程国内プログラム学生募集要項」を参照してください。
 ※学生募集要項は、本学ホームページ(<http://www.grips.ac.jp/>)に掲載されます。

アクセス



■ 問い合わせ先 …… 地域政策コースの内容についての問い合わせは、下記までお願いいたします。

国立大学法人 政策研究大学院大学
 公共政策プログラム 地域政策コース
 〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1

Tel : 03-6439-6290 Fax : 03-6439-6040 URL : <http://www.grips.ac.jp/>

